



校長通信

令和3年度12号

令和3年10月27日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《3年生 修学旅行に行ってきた！》

10月19日（火）～10月21日（木）の日程で、修学旅行に行ってきた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に引き続き、今年度も東京方面への旅行計画を変更し、和歌山県内の旅行となりました。



初日は、お天気がややこしく、途中雨が降ったのですが、大きな影響もなく、予定していた体験を楽しむことができました。広川町でのミカン狩りでは、2種類のミカン（ゆら早生と日南）を収穫させていただき、その場で味わいました。ゆら早生は、その名の通り、由良町で発見された品種で、1995年に極早生みかんの高糖系品種として品種登録されたそうです。ジューシーな果汁がたっぷりで、さわやかな酸味がありながら、甘みとコクもあり、とてもおいしかったです。みんな、とれたてのミカンをおいしそうにほおばっていました。

丸新本家湯浅醤油では、醤油醸造の蔵見学と、醤油づくり体験をしました。ペットボトルに醤油のもろみを仕込んだものを、おみやげとしていただきました。定期的に攪拌させながら、約1年後にマイオリジナル醤油が完成するそうです。どんな醤油ができるのか、今から、楽しみです。

湯浅の栖原海岸では、シーカヤック体験です。子供たちは、最初、恐る恐るパドルを使って水をかいていましたが、少し経つと、パドル漕ぎも慣れて来て、結構なスピードで進んでいました。沖の方まで、出ていくと、遠くは由良町の白崎海岸や有田市の矢櫃海岸を眺めることができました。水面までの距離が近いので、船やボートでは味わえない、海との一体感が楽しめました。

二日目は、白浜観光と、那智の滝及び那智大社周辺の散策です。子供たちは、世界遺産の那智大社の神聖な空気と美しい社殿の魅力、那智の滝の雄大な姿に圧倒されていたようです。

三日目は、アドベンチャーワールドです。この日、昨年生まれたパンダのあかちゃん、楓浜が初めて、屋外運動場で公開されました。お母さんパンダの良浜に甘える姿は、とても愛くるしかったです。

このように3年生は、3日間、仲間と友情を深めながら、和歌山の自然・文化に触れ、充実した時間を過ごしました。みかんの生産量日本一、パンダの飼育数日本一、那智の滝の落差日本一と、和歌山にある日本一を体験した旅でもありました。地元の良さを実感し、これから大人になってもふるさとを誇りに思い、その良さを世界の人々に発信できる人に育ってくれたらうれしいです。

旅行中、子供たちは、集合時間に遅れて来る事もなく、公共のマナーも概ね守れていたように思います。バスの運転手さん、シーカヤックのインストラクター、宿舎の従業員の方々が、挨拶もできて、かわいい生徒さん達ですね等、声をかけてくれました。有意義な修学旅行となりました。